

**令和5年度 次世代の学校・教育現場を見据えた
先端技術・教育データの利活用推進
(先端技術を中核に据えた新たな学校(Super DX School)
の設置・運営に関する実証事業)**

実証研究概要資料

さいたま市

実証校

(仮称) さいたま市立Growth小中学校

構想概要

構想名

不登校特例校

～未来の学び場「さいたま市立Growth小中学校」への挑戦～

構想の目的

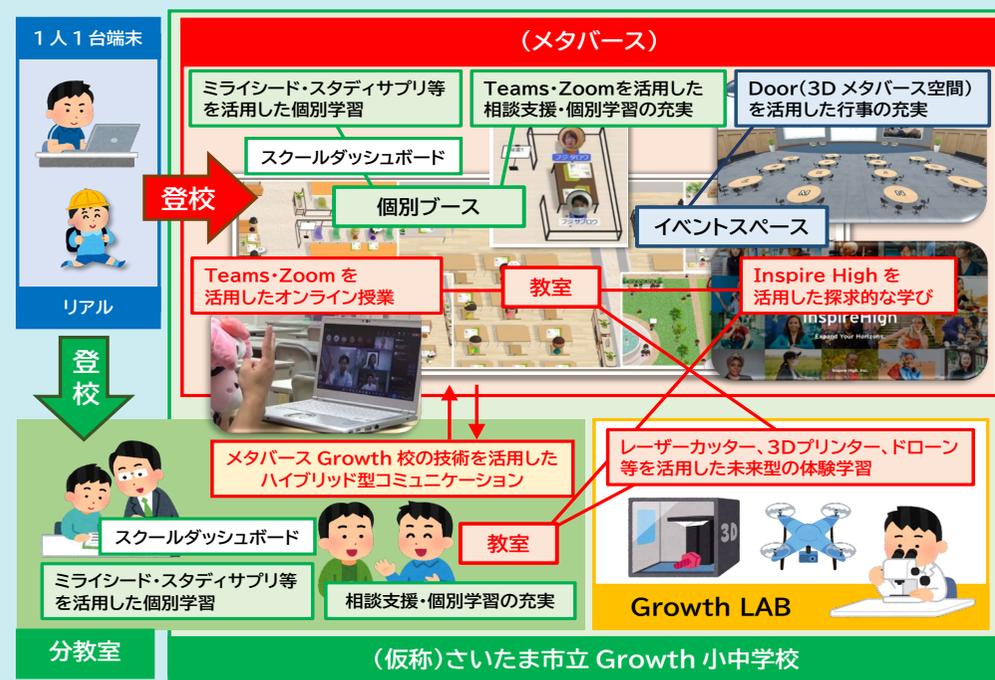
不登校児童生徒は多様なバックグラウンドがあるため、先端技術で不登校支援を充実させることは、未来型教育にも寄与するものである。

【課題1】自ら学びをデザインする力の育成

【課題2】多様なコミュニケーション力の育成

【課題3】好奇心を持って新たな価値を創造する力の育成

先端技術を活用した教育の概要



ファブスペース活用の概要

Growth LABではリアルとオンラインで先端技術に触れることで好奇心を刺激し、未来型の体験と発見から新たな価値を生み出す。

(活動例) 【レーザーカッターを使用した活動】

- ・レーザーカッターの使い方を知る
- ・図形を合わせて自分のマークを作る
- ・落ち葉に自分のマークを印刷する
- ・皆が印刷した落ち葉でGrowthの木を作る

令和7年度までに整備 (デジタル顕微鏡、ドローン、高性能PC)



他に活用する先端技術

FAMcampus…バーチャル教育空間 (2Dメタバース)

Inspire High…探究的な学びEdTechプログラム

Door…仮想空間プラットフォーム (3Dメタバース)

Microsoft Teams…コラボレーションツール

ミライシード、スタディサプリ…個別学習コンテンツ

コンソーシアムの構成

産・官・学の連携の下、先端技術を導入し、Society5.0時代に相応しい新たな学校文化と学習スタイルの不登校特例校へ

【産】内田洋行、NTT (端末、インフラ整備、保守)

富士ソフト株式会社 (メタバース空間の構築)、他

【官・学】立正大学/国立教育政策研究所 包括連携

埼玉大学 教育コラボレーション構想

さいたまスマートスクールプロジェクト (GIGAスクール構想)

期待される成果や知見

- スクールダッシュボードを活用した個別最適化された学びを提供することで、児童生徒が自ら学びをデザインし、成長することが期待される。
- 現実と仮想空間のハイブリッド型コミュニケーションによって、豊かなコミュニケーション力が育まれることが期待される。
- Inspire Highによる探究的な学びやGrowth LABでの未来型の体験学習を通して、児童生徒の好奇心が刺激され、未来の社会に必要な、新たな価値を生み出すことが期待される。
- 多様なバックグラウンドを持つ不登校児童生徒への支援を通して、未来型教育の在り方を通常の学校にも還元することが期待される。